

電気電子通信工学科・卒業研究(1)ルーブリック

中間発表(50%)	評点					評価
	1	2	3	4	5	
研究背景と目的	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
研究手法	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
進捗と今後の計画説明	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
プレゼンテーション・資料	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	

研究活動(50%)	評点					評価
	1	2	3	4	5	
研究に関する調査	ほとんど行っていない	あまり行っていない	ある程度行っている	行っている	極めてよく行っている	
研究の取り組み	ほとんど行っていない	あまり行っていない	ある程度行っている	行っている	極めてよく行っている	
結果の考察	ほとんど行っていない	あまり行っていない	ある程度行っている	行っている	極めてよく行っている	
議論・協働	ほとんど行っていない	あまり行っていない	ある程度行っている	行っている	極めてよく行っている	

合計

詳細説明

中間発表	研究背景と目的	研究の背景と目的は学科の『人材の養成及び教育研究上の目的』および『ディプロマポリシー』にてらして妥当であり、それを良く理解しているか評価する。
	研究手法	卒業研究全体を通して行う研究手法を理解できているか評価する。
	進捗と今後の計画説明	卒業研究全体における現在の進捗状況および状況の把握と、最終発表までの計画を説明できるか評価する。
	プレゼンテーション・資料	プレゼンテーション資料の作成方法(グラフ、図面、表現方法等)について評価する。
研究活動	研究に関する調査	文献調査・過去の研究・関連研究について調査しているか評価する。
	研究の取り組み	卒業研究に必要な基礎勉強を行い、自ら積極的に取り組んでいるか評価する。
	結果の考察	実験・シミュレーション等で得られた研究成果に対して妥当性・信頼性等の考察を行っているか評価する。
	議論・協働	積極的に質問する姿勢、研究を進めるために他者と協働する姿勢を評価する。

電気電子通信工学科・卒業研究(2)ルーブリック

中間発表(20%)	評点					評価
	1	2	3	4	5	
研究背景と目的	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
研究手法	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
進捗と今後の計画説明	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
プレゼンテーション・資料	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	

最終発表(25%)	評点					評価
	1	2	3	4	5	
研究背景と目的	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
研究手法	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
研究成果	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
研究成果の考察と結論	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
プレゼンテーション・資料	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	

研究活動(30%)	評点					評価
	1	2	3	4	5	
研究に関する調査	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
研究の取り組み	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
研究手法の立案	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
研究成果	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
研究成果の考察・議論	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
議論・協働	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	

卒業論文(25%)	評点					評価
	1	2	3	4	5	
研究背景・目的	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
研究手法	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
研究成果	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
研究成果の考察・議論	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	
参考文献	かなり努力が必要	もう少し努力が必要	普通	良い	非常に良い	

合計

詳細説明

中間発表	研究背景と目的	研究の背景と目的は学科の『人材の養成及び教育研究上の目的』および『ディプロマポリシー』にてらして妥当であり、それを良く理解しているか評価する。
	研究手法	卒業研究全体を通して行う研究手法を理解できているか評価する。
	進捗と今後の計画説明	卒業研究全体における現在の進捗状況および状況の把握と、最終発表までの計画を説明できるか評価する。
	プレゼンテーション・資料	プレゼンテーション資料の作成方法(グラフ、図面、表現方法等)について評価する。
最終発表	研究背景と目的	研究の背景と目的は学科の『人材の養成及び教育研究上の目的』および『ディプロマポリシー』にてらして妥当であり、それを良く理解しているか評価する。
	研究手法	目的達成のための研究手法を理解できているか評価する。
	研究成果	研究手法に沿ってしっかり結果が得られているか評価する。
	研究成果の考察と結論	研究成果に対して妥当性・信頼性等の考察を行っているか評価する。
	プレゼンテーション・資料	プレゼンテーション資料の作成方法(グラフ、図面、表現方法等)について評価する。
研究活動	研究に関する調査	文献調査・過去の研究・関連研究について調査しているか評価する。
	研究の取り組み	卒業研究に必要な基礎勉強を行い、自ら積極的に取り組んでいるか評価する。
	研究手法の立案	研究目的を達成するための手法を自ら工夫して立案しているか評価する。
	研究成果	研究計画、手法に沿って研究を行い、しっかり結果が得られているか評価する。
	研究成果の考察・議論	実験・シミュレーション等で得られた研究成果に対して妥当性・信頼性等の考察を行っているか評価する。
	議論・協働	積極的に質問する姿勢、研究を進めるために他者と協働する姿勢を評価する。
卒業論文	研究背景と目的	研究の背景と目的は学科の『人材の養成及び教育研究上の目的』および『ディプロマポリシー』にてらして妥当であり、それを良く理解しているか評価する。
	研究手法	目的達成のための研究手法をしっかりと書いているか評価する。
	研究成果	研究手法に沿ってしっかり結果をしっかりと書いているか評価する。
	研究成果の考察・議論	研究成果に対して妥当性・信頼性等の考察をしっかりと書いているか評価する。
	参考文献	関連研究の文献をしっかりと書いて、適切に引用しているか評価する。

学修要覧より

【電気電子通信工学科の「人材の養成及び教育研究上の目的」】

電気電子通信工学の基礎となる知識を十分に修得した上で、幅広く専門知識を身に付け、さらに学生実験や卒業研究を通して実践的な経験を積むことにより、進化する社会の中で技術者として生き抜く力を養い、現実に即した発想のもと身に付けた知識に基づく理論的裏付けを持った実践によって多彩かつ柔軟に応用できる人材の養成を目的とする。

【電気電子通信工学科のディプロマポリシー】

所定の年限在学し、以下の能力を身につけるとともに所定の単位数を修得した者に、学士(工学)の学位を与える。

1. 幅広い教養を持ち、多面的視点から社会問題を捉えることができ、人間としての高い倫理観をもって、技術者が社会に与える影響、技術者の責任について十分に理解する。
2. 電気電子通信工学に必要な理工学基礎科目に対応する基礎学力、電気電子通信工学の専門コア科目と専門科目に対する十分な知識と応用する能力を修得する。
3. 電気電子通信工学分野の現実の問題に対して、理論的裏付けを持った実践によって、問題発見、解決する能力を有し、深い解析、考察により論理的に結論を導き出すことができる。
4. 幅広いコミュニケーション能力を有し、他者への確に考えを伝え、協働することができ、電気電子通信技術の専門家として社会貢献、自己の将来設計を行うことができる。